

共に学び共に支え共に創る三小の教育／全ての子どもに、よりよい人生を切り拓く基盤を確実に築く三小の教育

# 学校だより

No. 2

青梅市立第三小学校  
校長 平崎一美

令和2年5月11日

青梅市大門 2-317 電話 0428-31-7266 学校 HP <https://www.city.ome.tokyo.jp/school/daisan/-e>

先を見据えて今を固め、今を見つめて先を考える

校長 平崎 一美

年が明け、新型コロナウイルス感染症拡大が進む中、2月27日、国からの学校の臨時休業措置の要請を受けてから、学校の臨時休業が続いています。卒業式や入学式は実施できたものの、依然、学校には子供たちの姿、溢れる笑顔や歓声がない状況が続き、学校の風景が大きく変わりました。今まで学校教職員が経験したことがない日々が続いています。

保護者の皆様には、この学校の臨時休業期間中には、子供たちの健康管理や感染予防、また、特に子供たちの家庭学習への声掛けや学校からの課題に対するご理解とご協力に深謝申し上げます。本校では、新型コロナウイルス感染症に関わる現状において、本校の子供たちの学びが止まらないように、また、学校再開後の円滑な教育活動の実施に向け、教職員一同、心を砕き準備をしています。

さて、全国の学校では、この学校の臨時休業期間中に、各種教材の配布、デジタルコンテンツの紹介、オンライン学習等により、子供たちの学びが停滞しないよう対応に努めています。また、公共教育機関以外の機関や施設、企業等が、多様なプログラムやコンテンツ、オンライン学習システム等を開発・提供し、子供たちの学びを保障する動きが多くみられるようになりました。こうした社会の状況の変化を踏まえると、今後、学校での教育活動や学校で子供たちが学ぶ意義はどう変化していくのか、また、変化しないのか、学校教育の在り方を改めて考える必要があり、学校の存在価値や真の役割や機能が問われているのではないかと思います。

しかしながら、時代や社会がいかに変化しようとも変わることはない学校、本校の使命は、4月の学校だよりも書いたように、子供たちが「夢に向かい、志をもって、自らの道を拓く人」「かかわりを大切にし、地域・社会・自然と共に生きる人」として育つよう、保護者、地域の皆様との協働による質の高い教育を進め、子供たちに、よりよい人生を確実に切り拓く基盤を確実に築いていくことと確信しています。

これから、今後の学校教育の変化を見据えながら、今、本校では何をしなければならないのか、今現在、学校の臨時休業期間の状況を見たときに、今後、本校の子供たちが学び続けるために、何を準備し、どう教育活動を工夫改善していくのか、本校の教育をしっかりと考えてまいります。

現時点では、6月1日に学校再開予定となっています。新型コロナウイルスの感染状況により学校再開に向けた動きも刻々と変化することが予想されますが、本校教職員一丸となって学校再開に向けて準備を進めています。

今後とも保護者・地域の皆様方の本校の教育に対する変わらぬご理解とご協力をお願い申し上げます。



4年2組担任小林光教諭は出産のため5月30日より産休に入ります。後任は決定次第追ってお知らせいたします。よろしくお願いいたします。